

## 別紙様式第十五号

### 研究の名称「浣腸回数減少へのレクリエーションを通じたアプローチ」

#### 1. 研究目的・意義

当施設の認知症専門棟においては浣腸による排便処置（以下浣腸）回数が多い状況でした。認知症のある利用者にとって浣腸は意図的でない急な便意をもよおし不安を生じやすい処置であると考えました。

そこで平成 29 年 3 月～8 月と平成 30 年 3 月～8 月に施設サービスとしてレクリエーション（以下レク）を実施するにあたり、自然排便を促すための排便体操を取り入れました。レクは施設サービスとして開始され、デイルームにて離床されている利用者に参加の意思を確認し拒否のない方を集め毎回実施しました。レクを実施した期間の前後で浣腸回数が減少したか検証します。この研究を行うことにより排便体操を取り入れたレクが浣腸回数を減らすことに効果があるか明らかになると考えます。

#### 2. 研究の対象

平成 29 年 3 月～8 月と平成 30 年 3 月～8 月に入所していた利用者のうち、レクに参加し浣腸を行っていた方（レク実施群）とレクに参加せず浣腸を行っていた方（レク非実施群）を対象とします。

#### 3. 方法

レク実施群ではレクを実施した期間中の前後のひと月の浣腸回数を比較し、レク実施期間の前後にて浣腸回数に変化がみられたか検証します。レク非実施群も同期間にて浣腸回数に変化がみられたか検証します。またレク実施群ではレク参加回数が多いほど浣腸回数が減少しているとの仮説のもとに、レク参加率と浣腸回数の変化との相関関係を見ることとします。

研究対象期間は倫理委員会の承諾を得てからとします。

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

〈調査する項目〉

- ・ 基本情報：年齢、性別、要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度
- ・ 浣腸回数（平成 29 年 3 月、8 月、平成 30 年 3 月、8 月のひと月当たりの回数）
- ・ レク参加回数

〈情報の取り扱い〉

- ・ 調査する項目はすべてカルテより抽出します

- ・新たな試料、情報の取得は行いません
- ・カルテからまとめたデータは介護老人保健施設みえの郷事務所のインターネット環境のないパソコンに保存管理します

#### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

医療法人社団主体会 介護老人保健施設みえの郷  
作業療法士 岩岡 裕子  
〒511-1111  
三重県四日市市山田町 5538-1  
電話 059-328-2116  
ファックス 050-328-1868

研究責任者：岩岡 裕子